

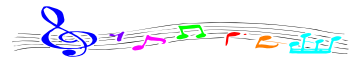


西播医療安全ニュース



2015年3月 (第13号) 発行

1 災害訓練の様子 (2014年11月27日実施)



例年の災害訓練は、山崎断層を震源とする地震を想定した訓練でしたが、今年は、山陽自動車道で、自動車事故を想定し、30名の負傷者が搬送される設定で行いました。



其々の担当の確認と訓練開始前の打ち合わせ



ムラージュ
中です!!

トリアージ・搬送手順 大丈夫かな??・・・
患者連絡カードがないよ!!・・・(?_?) 慌
てる場面もありましたが・・・次の訓練の教訓
に・・・



患者受け入れて
です。落ち着い
て!!



看護学部の大学生
と看護専門学校の
学生たちが、協力
してくれました。

2. 病院と消防本部での取り組みの紹介①

平成26年10月から、**救急ワークステーション**を開設し、**試行的に週2回**運用を開始しました。

目的は、救急隊員の知識技術の向上(研修)、医療スタッフとの連携強化、より良質な救急医療実現の
為、病院に消防の救急車と救急隊員を派遣し、救急要請があれば、救急隊員が現場に出動します。病院
内では、医師・看護師の指導のもと実習を行っています。



顔の見える関係づくりは、仕事をスムーズにさせ、感情的トラブルも回避します。より良質な医療が、最善の状態、提供できる事を実現します。



平成27年
4月の本稼働を目指します!!

3. 転倒転落の取り組みの紹介②

転倒転落防止パンフレットを設置してから、3ヵ月ですが、発生率が(0.9%) → (0.49%)に減少しました。

患者様にも参加して頂き、意識をもって頂く為に、

転倒転落防止パンフレットを各床頭台に吊り下げ患者様に読んで頂いています。

★転倒転落防止パンフレット

患者様に、転倒・転落のない入院生活を送って頂く為に、必ずお読み下さい。

入院中は環境が変化し、筋力・体力の低下やお薬の影響等から、予想以上に転びやすい状況になります。そこで、以下のような点にご注意下さい。

| | |
|---|--|
| <p>ベッド上での生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ベッドの高さは、座って足がつく高さに調整しましょう。  <ul style="list-style-type: none"> ☆ベッド上で立ったり、身を乗り出して物を取ろうとしない様にしましょう。 ☆ナースコールの位置を確かめましょう。 ☆転落しないように、ベッド柵の使い方を確認しましょう。   <p>【お子様の時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♥サークルベッドを使用しています。 ♥ベッドが高いので、眼を離すと非常に危険です。必ずベッド柵を上まで上げておきましょう。  | <p>車椅子について</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆車椅子に乗降する時は、必ずブレーキをかけましょう。 ☆足に乗せる(フットレスト)ところに立つと危険です。   <p>血圧の薬・睡眠薬・精神安定剤・解熱剤・抗アレルギー剤等を服用されている時</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆服用前にはトイレを済ませておやすみ下さい。 ☆夜中にトイレ等で動く場合は、ふらつく危険がありますので、注意して動きましょう。 ☆少しでも、不安な時は、看護師にお知らせ下さい。看護師が到着するまでベッドでお待ち下さい。 <p>運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ベッド上での生活が長くなると、足の筋力が予想以上に低下します。状況に応じ、足の指、足首、膝の運動を行いましょう。 ☆運動を行う事で、筋力低下を予防し、深部静脈血栓症等の予防にもなります。 |
| <p>点滴を行っている時</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆点滴台を押しながら歩く時は、焦らないで、ゆっくり歩きましょう。 ☆キャスターが付いていますが、支えにすると危険です。 ☆カーテンに引っ掛からないように、気を付けましょう。  | <p>ベッドの周囲について</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ベッドの周りは、オーバーテーブル、床頭台、靴、歩行補助具等、色々な物があります。それらにつかまると、不安定なので危険です。そして、それらでつまずく事もあるので、常に整理整頓を心掛けましょう。  |
| <p>歩行する時</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆焦らないで、履物はきちんとはきましょう。 ☆点滴がある場合は、点滴台やカーテンに引っ掛からないように注意しましょう。 ☆ベッド周囲にある、床頭台やオーバーテーブル等に注意しましょう。足の妨げになるものは置かない様にしましょう。 ☆床が濡れていないか、確認しましょう。 ☆歩行が、不安な方は遠慮なく看護師にお知らせ下さい。 ☆夜間は、特に暗いので、枕灯や足元灯を点けましょう。 ☆足に力が入らない、立ちくらみがある等の場合は、遠慮なく看護師にお知らせ下さい。 | <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">(ご家族の皆様へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆入院中の荷物は、最小限にさせていただき、床には物を置かないように、ベッド周囲の整理整頓にご協力をお願い致します。 ☆患者様に、転倒転落の危険性がある場合は、ご家族様にご協力をお願いする事がありますので、宜しくお願い致します  </div> |
| <p>履物について</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆スリッパは滑りやすく脱げやすいので、安全な履物をお勧めします。(骨らない、着脱しやすい履物等) | |